

国内実態調査報告書

テーマ : 北海道のスマート農業の現状と将来性
ゼミ名 : 斎藤 正武 ゼミ
調査日 : 2024年10月8日(火)～10月10日(木)
調査先 : (株)スマートリンク北海道
授業科目名 : 演習IV
参加学生数 : 2名(4年生)

調査の趣旨(目的)

卒業論文の実態研究の一環である。卒研の1テーマである「北海道のスマート農業の現状と将来性」についての研究のため、最近積極的にスマート農業の導入を果たしている農場の実態、およびそれを進めているスマート農業推進企業「スマートリンク」小林社長へのヒアリングや導入機器(農機)の視察を実施する。

調査結果

北海道岩見沢市にて、株式会社スマートリンク北海道小林氏にヒアリング調査を行った。

株式会社スマートリンク北海道は、2013年に設立され、北海道岩見沢市に本社を構える。農業分野におけるITソリューションの提供を通じて、生産性向上やコスト削減を目指しており、農家の知見をシステム化し、スマート農業の普及と地域定着化を推進している。スマート農業の先進地として、ICTやロボティクスを活用した農業の革新に取り組んでいる。この地域では、農業の高齢化や人手不足という深刻な課題を抱えているが、これらを解決し、生産性の向上と効率化を図るために、ローカル5Gやドローン、ロボットトラクタといった最先端技術の導入が進められている。同市では、こうした技術の普及と発展に向けて、官民連携の体制が整備されている。地元企業や大学、行政機関が一体となり、スマート農業技術の研究開発や普及活動を推進しており、特に株式会社スマートリンク北海道が中心となり、農業ICT基盤の構築や農家への技術支援を行っている。また、技術研修や講習会を通じて、農家が新しい技術を習得しやすい環境も整備されている。これらの取り組みによって、岩見沢市は農業の持続可能性を高めるとともに、地域農業の未来を切り開くモデルケースとして全国的な注目を集めている。

北海道におけるスマート農業の現状と課題について株式会社スマートリンク北海道小林氏へ行ったヒアリング調査の結果を踏まえながら、農場の規模や導入技術等に焦点を当て整理していく。ヒアリング調査では下記の点を中心にヒアリングを行った。以下、番号に従ってまとめを行った。

〔ヒアリング項目〕

①スマートリンク北海道について

- ②スマートリンク北海道に関わっている組織や予算について
- ③導入している機械や技術について
- ④今後の展望について

